

アート・フォー・コミュニティ

2019年度 報告書



認定NPO法人 あっちこっち

あっちこっちとは

“アートで人とまちを繋げる”

「アートは敷居が高い!」、「自分とは別世界…」と思われがちで、身近な存在ではないイメージがあります。普段の生活の中でもっと気軽に楽しめたら…とそんな思いで活動をスタートしました。

コンサートやワークショップでみんなを笑顔にしてくれるのは若い優秀なアーティストたちです。彼らと一緒にもっと色々なところへアートを届けて、笑顔を増やしたい!それを実現するために設立しました。

活動理念

【理念】

アートでまちとひとを元気にします。



【ミッション】

地域社会とアーティストをつなげることで、地域の課題を芸術の力で解決します。

【ビジョン】

日常生活の中で身近に、芸術を見たり、聴いたり、体感したりすることで、さまざまな人が、共に楽しく元気に生活することのできる社会。

【バリュー】

芸術には、あらゆる垣根をこえて、人の心をうごかし、勇気づけ、癒し、人と人をつなげる力があります。

沿革

- 2011年8月 クラシック音楽マネジメント会社KAJIMOTOにて、コンサート企画運営等幅広いマネジメント業務に関わってきた理事長厚地が退職後、「アートで社会貢献を考え、実行する市民団体あっちこっち」を設立。東日本大震災被災地復興支援のための『カフェ・コンサート』事業開始
- 2013年8月 NPO法人あっちこっち設立
- 2014年1月 介護施設での『カフェ・コンサート』事業開始
- 2015年5月 横浜市アート文化教育プラットフォームの学校プログラムコーディネーターを拝命
- 2015年5月 オーストラリアのアート団体「ポリグロット劇場」と東日本大震災被災地である宮城県南三陸町の小学校と地域の高齢者をつなぐワークショップを協同開催
- 2015年7月 横浜市の国際教育音楽祭MMCJの運営を担当
- 2016年6月 寄附金が税控除や損金扱いの対象になる認定NPO法人として指定決定
- 2018年3月 オーストラリア「ポリグロット劇場」と美術・音楽・舞踏を融合したワークショップ「ペーパープラネット」を宮城県南三陸町で開催
- 2018年4月 若手アーティスト育成および地域活性化を目指す『アート・フォー・コミュニティ』事業開始
- 2018年11月 オーストラリアのアーティスト集団と当法人アーティストの協働による、カラオケをテーマにした体験型イベント『The KARAOKE Project』を開催
- 2019年11月 食とアートでスローライフを提唱する国際交流プロジェクト「Dining Room Tales」を日本で初めて横浜と関西で開催



AFC（アート・フォー・コミュニティ）とは

アートを取り入れた地域振興を考えた場合、アートを受け入れる土壌が育っていない場所でいきなり大掛かりなイベントを催しても、地域住民、企画側の双方にとって負担が大きく効果も少ないため継続的な実施が難しくなってしまいます。まずは普段の生活のほんの一部分にアートを取り入れ、身近に傍に感じられるものになること、いずれはアートが生活の一部となり、アートを使った地域経済の発展と繋がることを目指します。

アートと地方創生というテーマのもと、商店街の活性化のためにアート活動を地域住民とともにやり、商店街の認知度の向上及びアートがもたらし得る地域経済への効果や生活を豊かにする効果について、具合的な活動を通して知見を獲得します。ひいては日本全体のアート活動の向上及びアートの持つ潜在的な力の共有化、アーティストの職能の認知拡大へとつなげることを目的と致します。

あっちこっちは、これまで多くのコミュニティの皆様からアート活用の難しさ、若手アーティストからは地域活性化における様々な悩みを聞いてきました。



アートを活用した地域活性化に興味のある

コミュニティ

- ✓ 具体的な方法がわからない。
- ✓ 過去にうまくいかなかった。
- ✓ そもそもアートで何ができるかわからない。

成果をあげるには？



芸術スキルで地域活性化に貢献したい

若手アーティスト

- ✓ もっとコミュニティのニーズを反映した企画をしたい。
- ✓ 成果を挙げるために、芸術スキル以外に身につけるべきものを模索中
- ✓ アートで解決できる地域課題の可能性を広げたい。

大きな課題は、コミュニティと若手アーティストの間のコミュニケーションギャップや、イベントやワークショップなどを協働してつくりあげていく、という意識の希薄さにあるのではないかと私たちは考えました。そこで、あっちこっちが、両者の間に入り…



コミュニティ

- ✋ コミュニティ特性に合致したアーティストを**マッチング**します。
- ✋ アーティストとコミュニティ間のコミュニケーションを促し、**見守り**と**サポート**をします。
- ✋ 豊富な実践例を参考に、イベント**企画・制作サポート**をします。



あっちこっち

若手アーティスト

- ✋ コミュニティの**ニーズ**を把握し、**企画に反映する支援**をします。
- ✋ イベントの企画・制作から実践に向けた**プロデューススキル**を身につける機会や教育の場を提供します。
- ✋ アートによる地域振興実例等をもとに、**企画・制作の支援**をします。

あっちこっちが

- ・両者間の**仲介**。
- ・アーティストの**プロデューススキル向上をサポート**。



することで、課題解決を目指す。

活動エリアの特性・課題

今年度のAFCの活動拠点である**横浜市中区麦田町**は、周辺に史跡や名所、学校、公園等を多く有し、中心には古くから地域住民の生活を支えてきた麦田町商店街がある住宅地です。恵まれた環境にありながら、中区全体と比べて高齢化率が高いため、地域の福祉保健活動等の担い手の高齢化が進み、担い手不足が懸念されています。昔ながらの街並みや、地域組織、風土の残る商店街には、歴史ある店舗が多くあります。その中の一例として、商店街の要となっている材木店は、歴史が長く、地域の林業、建設業とも関連し、地域経済を長く支えてきました。こうした歴史ある商店の魅力をアートを活用して再発見し、現代の需要に沿った価値へと転換していくことが急務であると言えます。時代を問わず、人々の心に訴えかけてきたアートや音楽の力で、地域産業そのものの価値を高めていかれると考えます。また数年前まで、地域の小学校の子供達と商店街協同取り組みで、山手公園への紫陽花栽植がありましたが、継続した取り組みは難しい状態です。日頃から地域課題を迅速に発掘し、住民同士が見守り合い支えあえるような関係作りが求められています。

麦田町発展会

キッズコネクション

麦田地域ケアプラザ

アーティスト

あっちこっち

実施内容

アートイベントが少しずつ継続して地域に根付いていくように、まずはコミュニティ既存のイベントにアートを少し取り入れる企画を考えました。「アートという言葉は難しそうに聞こえるけれど、日常生活に少しずつ取り入れて触れる機会が多くなれば、きっと明日から見る世界が“ちょこっと”違って見えるかも」をテーマに、「**ちょこっとアートプロジェクト**」と名付けました。

①「ムギーとギータ」のモニュメント作り

麦田町にある『おおたに家電』の地下倉庫をお借りして、美術家が麦田町のイメージ・キャラクター「ムギーとギータ」のモニュメントをリニューアル。イベントでお披露目後、麦田地域ケアプラザに常設。制作の様子は神奈川テレビで放送されました。

〔制作期間：8月～10月中旬〕



②ハロウィンイベント

麦田町にて毎年恒例のトリック・オア・トリート（お菓子の配布）、ハロウィंकエスト（スタンプラリー）に加え、新たにハロウィンコンサートを実施。200人を超える子ども達の参加があり、子ども達が音楽に合わせて踊ったり、子ども達からのリクエスト曲をアーティストが演奏したりしました。〔開催日：10/31〕



③廃材ワークショップ

『おおたに家電』の廃材コードを使って廃材クリスマス・オーナメントを作るワークショップを実施。〔開催日：11/25〕

廃材を使ったアート活動を行っているグループ『黄金町BASE』（美術家）が『津ノ国屋材木店』の廃材を使ってオリジナル楽器“ムギッキ”を作り、参加者皆で合奏するワークショップを実施。〔開催日：12/14〕



④プレクリスマスイベント

麦田町にある子どものための多機能型障害児通所施設『キッズコネクション』にて、クリスマスについて知って、歌って、合奏して、楽しむクリスマスコンサートを実施。〔開催日：12/7〕



⑤クリスマスイベント

『麦田地域ケアプラザ』にて、麦田町内で活躍する音楽ボランティア団体「ささやきバンド」と「あっちこっちアーティスト」によるクリスマスコンサートを実施。〔開催日：12/14〕



あっちこっち登録アーティスト

プロジェクト・リーダー：降旗真理子（ピアノ）
田中愛実（ピアノ）、檜原いちご（フルート）、
藤川玲菜（ソプラノ）、于景（美術家／建築デザイン専攻）

協力アーティスト

黄金町BASE（中区黄金町のアート団体）
ささやきバンド（中区麦田町の音楽ボランティア団体）

実施スケジュール

年月	内容
2018.10- 2019.7	事前ヒアリングと打ち合わせを開始、リーダー・アーティストの決定。 『麦田町発展会』との月一回の会合参加開始
2019.8	参加アーティストの決定
2019.8	『麦田町発展会』へ企画提案を開始
2019.9	9/15「アーティストに向けた勉強会 第1回目開催」 9/30「アーティストに向けた勉強会 第2回目開催」
2019.10	1回目のワークショップ ～ちょこっとアートプロジェクト～ 10/31「ハロウィンコンサート」@津ノ国屋材木店
2019.11	2回目のワークショップ ～ちょこっとアートプロジェクト～ 11/25「廃材オーナメントワークショップ」@キッズコネクション
2019.12	3回目のワークショップ ～ちょこっとアートプロジェクト～ 12/7「クリスマスを知って歌って楽しもう」@キッズコネクション 4回目のワークショップ ～ちょこっとアートプロジェクト～ 12/14「廃材楽器ワークショップ」@麦田地域ケアプラザ 5回目のワークショップ ～ちょこっとアートプロジェクト～ 12/14「クリスマス・コンサート」@麦田地域ケアプラザ
2020.1	1/13 活動に関わった全員が出席し、成果・課題・今後の展開について話し合う合同報告会を開催

今年度AFCの特徴と総括

今年度は、前年度AFCの活動拠点の一つであった子どものための多機能型障害児通所施設「キッズコネクション」との繋がりで、60年近くの活動実績がある「麦田町発展会」の協力を得られました。2018年10月からは発展会の会合に毎月参加し、時間をかけて信頼関係を築くことを大切にしました。更に昨年AFCに参加した登録アーティストがプロデューサーとしての学びのために立候補し、アーティスト・リーダーとしてプロジェクトの決定や発展会との交渉を担当しました。前年度はAFC開催場所が複数のコミュニティに分かれていましたが、今年度は一つの街で様々な商店、地域ケアプラザ、子どものための多機能障がい者施設、地元の音楽ボランティア団体、アートサイトで知り合った廃材アート団体、小学校などとの連携を大切に、音楽・アートを使ったイベントを実現することができました。課題は多くありましたが、次年度継続開催にむけた話し合いにつながっているのが大きな成果だと思います。

あっちこっち

振り返り会の報告

2020年1月13日、活動に関わった全団体代表が出席し、成果・課題・今後の展開について話し合いました。

関わって良かったこと

麦田町発展会

- ・町のイメージ・キャラクター「ムギーとギータ」のモニュメントを作るのが長いあいだ課題だった。以前
のモニュメントは大きくて重くイベント時の移動や保存場所の課題があったが、それを解決してくれる新
しい「ムギーとギータ」が出来たことが嬉しい。
- ・町の事業所で出る廃材を使ってアート・ワークショップが出来た。

キッズコネクション

- ・自分たち団体だけでは創る事の出来ない子ども達への体験の場が出来た。
- ・昨年にAFCに比べて個々のアート・イベントのクオリティが上がった。
- ・素敵なアーティスト達と出会えた。

麦田地域ケアプラザ

- ・お子さんから高齢者まで多世代が楽しめるイベントが出来た。イベント時には赤ちゃん連れ家族に対して、
隣席の高齢者がぐずっている赤ちゃんをあやす姿が見られた。
- ・麦田町は吹奏楽発祥の地でもあり、音楽での交流は意味があることである。
- ・あっちこっちのアーティストと ケアプラザで活動している地元の音楽ボランティア団体のコラボ、隣町の
廃材を使うアート団体などこの施設を使って様々な団体との交流があり広がりが出来た。
- ・認知度が低く課題になっている子どもの来館が沢山あった。

アーティスト

降旗： 麦田町の方と出会えたこと。“ちょこっとアート”の名の通り、街中で音楽が流れたことが良かった。

田中： 初対面の人と同じ音楽を共有できたことが嬉しかった。

檜原： 音楽をやっていてよかったと思えたとし、今回の出会いを感じた。

藤川： 音楽を通して、子どもたちと仲良くなることができたように感じ、音楽は人の心と心を繋ぐ力がある
ということを改めて感じた。

于： 外国人（中国）として参加できたこと。

AFCを体験して課題に思ったこと

麦田町発展会

- ・ 発展会の若いメンバーがもっと関われば良かった。協力があまりできなくて申し訳なかった。
- ・ アンケートをとった所、麦田町在住の地元の子どもがあまりいなかった。
- ・ 既存のイベントであるハロウィンや焼き芋大会は恒例なので、既に広報しなくても集客できるようになっているが、それが商店街の商売に繋がらない。

キッズコネクション

- ・ ルール化出来たら他の地域でも開催出来るイベントになる。

麦田地域ケアプラザ

- ・ 担当地区の参加者が少なく、もっと地域の人にケアプラザを知ってもらいたく特に子育て世代に来て欲しい。
- ・ イベント広報の仕方を工夫する必要がある。子育て世代の場合は、事前に再度周知をすればよかった。
- ・ 関わる団体をどこまで広げるか。

アーティスト

- 降旗： 各団体と連携が取れた形の模索、先方に遠慮せず関わることでミスコミュニケーションをなくす。
- 田中： もっと多くの人に知ってもらい、20代、30代の人にも参加してもらいたい。
- 檜原： 子ども達の周りを歩きまわって演奏するなど、もっと参加者に近い距離に入りたい。
- 藤川： 積極的に発言や表現できない子どもに対しての働きかけをもっとできるようにしていきたい。
- 于： シール・ポスター・SNSなどを更に活用し、多くの人に知って貰えるようにする。

今後の展望

麦田町発展会

- ・ 発展会内で担当者を決めてのぞむ。毎年3月に恒例開催している「焼き芋大会」に音楽をお願いしたい。
- ・ 楽器が演奏出来る地域の人とプロと一緒に演奏が出来る機会を設ければ、もっと親しみを感じる。
- ・ 津ノ国屋材木店の倉庫は音響が良いので、コンサートを企画してみるのはいかがでしょうか。
- ・ ムギーとギター作りのミニワークショップ開催するのはどうか。

キッズコネクション

- ・ プロジェクト管理の再考。人・物・金を縦軸にやる事リストを横軸で時間軸にし、リーダーが旗振りをする。
- ・ 発展会会合後を打合せ時間にするなど必要なメンバーが集まれるような機会をつくる。
- ・ 子どもが活躍できるイベントをアーティストと双方向でつくる。
- ・ 年間を通じた他にないテーマを設け、麦田町開催の意味を深めたい。例えば歴史的建造物である山手隧道、桜道橋などの資源活用や商店の集客、麦田町である意味を考える。

麦田地域ケアプラザ

- ・ イベントなどの場の提供をこれからも考えていく。何回か参加して楽器を練習し発表するなど子どもだけでなく高齢者も一緒に参加できる年間通してできるイベントをつくる。
- ・ 夏休みに子ども向けにアートに関わるイベントを開催する。どう集客するか？のテーマは欠かさない。

アーティスト

- 降旗： 今回の「ちょこっとアート」をさらに発展させて参加したい。
- 田中： アンサンブル・演奏で街の人たちと一緒に演奏もしていきたい。
- 檜原： 何でも参加していきたい。
- 藤川： 同じような企画のものをキッズコネクションさんで是非またやりたい。
- 于： ものつくりやポスターのデザインなどに参加したい。又他の材料を試してみたい。

認定NPO法人 あっちこっち

私たちには、人と人をアートでつなぎ、
コミュニティを笑顔にする力があります。

住所: 〒231-0852 横浜市中区西竹之丸61-5
Tel: 090-1261-1308
Mail: info@acchicocchi.com
URL: <https://www.acchicocchi.com/>

